

龍谷大学 データサイエンス・AI 教育プログラム

2022 年度

「データサイエンス・AI リテラシープログラム」

自己点検・評価報告書

データサイエンス教育プログラム運営委員会
2023 年 5 月 2 日

2022 年度「データサイエンス・AI リテラシープログラム」自己点検・評価報告書

データサイエンス教育プログラム運営委員会

本プログラムの自己点検・評価にあたっては、「データサイエンス・AI リテラシープログラム」の必修科目である「データサイエンス・AI 入門」（2 単位）において、認定教育プログラムに定めるモデルカリキュラムの全ての項目を網羅しており要件を満たしている。そのため、後述する授業アンケートは本科目に基づく分析及び点検を行っている。

1. プログラムの履修・修得状況

本プログラムは、「データサイエンス・AI 入門」（2 単位）と「プログラム指定科目」（2 単位以上）で構成し、2 科目 4 単位の修得をプログラム修了要件としている。

2022 年度については、「データサイエンス・AI 入門」を 1 科目（1 クラス）、「プログラム指定科目」を 30 科目（77 クラス）開講した。

履修者数及び修得者数については、以下のとおりである。

<プログラム全体>

種別	履修者数	修得者数
データサイエンス・AI リテラシープログラム（実人数）	57	32
（参考）データサイエンス・AI 入門（実人数）	140	92
（参考）プログラム科目（延べ人数）	2,296	2,052
（参考）プログラム科目（実人数）	1,811	1,621

2. 学修成果について

データサイエンス・AI リテラシープログラムの必修科目である「データサイエンス・AI 入門」の授業アンケートの設問「この授業のシラバスに示されている「到達目標（目的・ねらい）」を、どの程度達成できたと思いますか」の回答においては、「90～100%（12.9%）」「80～89%達成（55.9%）」「70～79%達成（20.4%）」と約 9 割の受講生より「70%以上達成できた」と回答を得た。

また、設問「データサイエンス教育プログラムに関連する科目 で学んだ内容は、将来、役に立つと思いますか」の回答においては、「強くそう思う（54.8%）」「そう思う（38.7%）」と 9 割以上の受講生より「将来役に立つ」と回答を得ることができた。

これらのことにより、「データサイエンス・AI 入門」の授業目的の一つである「将来、社会でビッグデータの処理結果に基づく判断が求められた際に、困らずに取り扱うことができる」ことについては一定の水準において達成していると評価できる。

3. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

「データサイエンス・AI 入門」の授業アンケートの設問「この授業の内容は理解できましたか」の回答において、「よく理解できた（15.2%）」「理解できた（65.2%）」と約 8 割の受講生より「理解できた」と回答を得た。

また、「データサイエンス・AI 入門」においては、授業中におけるグループワークや「データを扱う」実習授業のサポートを行う体制として大学院生のティーチングアシスタントを配置し、学生の理解度の把握及び向上を図っている。

4. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

「データサイエンス・AI 入門」の授業アンケートの設問「受講を後輩や他の学生に履修を推奨したいと思いますか」の回答において、「強くそう思う（30.4%）」「そう思う（46.7%）」と約 7 割以上の受講生より「推奨したい」と回答を得た。

5. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

令和 4（2022）年度は、2022 年度入学生を対象に新たな全学開講科目として「データサイエンス・AI 入門」（必修科目）を開講したほか、教養教育科目、学部専攻科目、学部共有コース科目から 31 科目（77 クラス）をプログラム科目と指定し開講した。

また、専用の WEB ページを作成したほか、履修要項へのプログラム概要の掲載、新入生向けのオリエンテーションで同プログラムの紹介チラシを配布、プログラムの広報用動画を作成するなど、履修者数、履修率の向上にむけた取り組みを展開している。

6. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価

データサイエンス・AI リテラシープログラムは、2022 年度入学生を対象として開始したことから、プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価を得るまでには至っていないが、今後、キャリアセンターが実施している卒業時進路データ、卒業後 1 年目および卒業後 3 年目を対象とした卒業生アンケートをもとにプログラム修了生の進路先や活躍状況を把握する予定である。

7. 産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見

令和 4（2022）年度に開講した「データサイエンス・AI 入門」の授業では、オープンデータである signate.jp における「レンタル自転車の利用者数予測」の実データをもとに、Google Data Portal（BI ツール）を用いて円グラフ、棒グラフ、積み上げ棒グラフ、折れ線グラフ、散布図を作成し、可視化を行った。

今後、社会や企業等で取り扱われている実データを用いた実習を行うことも想定しており、実データを提供してくれる企業や団体等との連携・協働の可能性を追求しているところである。さらに、その連携先企業から教育プログラム内容に対する意見等を収集し、改善に活用していく予定である。

8. 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること

「データサイエンス・AI 入門」の授業では、文部科学省による「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）」のモデルカリキュラムに基づいて、「社会におけるデータ・AI 利活用」（導入）、「データリテラシー」（基礎）、「データ・AI 利活用における留意事項」（心得）について学ぶこととしている。

授業においては、一方向の講義とならないよう、「無人コンビニ」や「自動運転」をテーマとしたグループワークを実施した。また、「レンタル自転車の利用者数予測」といった身近な事例を取り上げて、BI ツールを使用した計算機実習を行うことで、データサイエンスを自分事に感じられる仕掛けを構築した。

これらのことにより、「データサイエンス・AI 入門」の授業アンケートの設問「データサイエンス教育プログラムに関連する科目を通じて「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を感じましたか」の回答において、「強くそう思う（27.9%）」「そう思う（53.7%）」と約8割の受講生より「そう思う」と回答を得たことより、「データサイエンス・AI 入門」を通して、「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を理解してもらうことができた。

9. 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること

令和4（2022）年度の「データサイエンス・AI 入門」は、全学部の学生が受講できるようキャンパス間をオンラインでつないだうえで、グループワークを取り入れた学舎間連携授業として実施した。実施後は、『データサイエンス・AI 入門』の授業展開」と題したFD 研修会を開催することにより、授業において得られた知見を学内外に共有するとともに、次年度の複数担当者による複数クラス開講に向けて講義内容や水準を平準化するための情報共有や課題確認をおこなった。

また、令和5（2023）年度は、実習授業をサポートする体制として、授業時間外に質問を受け付ける大学院生のティーチングアシスタントを各キャンパスに配置する。このことにより、授業後の学生へのサポートをマンツーマンで行うことができ、学生の理解を促進することで「分かりやすい」授業とすることを目指している。

添付資料：

- ・プログラムの履修・修得状況（詳細）
- ・授業アンケート集計表

以 上

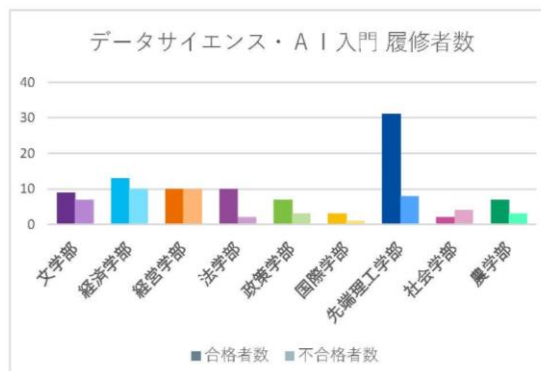
プログラム科目 一覧 (31 科目)

	授業名	単位
1	データサイエンス・AⅠ入門	2
2	経営データの分析 A	2
3	経営データの分析 B	2
4	社会調査情報処理実習A	1
5	社会調査情報処理実習B	1
6	情報処理実習Ⅰ A	1
7	情報処理実習Ⅰ B	1
8	情報処理実習Ⅱ A	1
9	情報処理実習Ⅱ B	1
10	社会統計学Ⅰ	2
11	社会統計学Ⅱ	2
12	量的調査法	2
13	統計学入門	2
14	社会統計学のすすめ	2
15	生活の中の統計技術	2
16	政策学のための統計・数学	2
17	特別講義 R	2
18	確率・統計入門	2
19	スポーツ統計学	2
20	心理学実験 A	1
21	心理学実験 B	1
22	心理学研究法 A	2
23	心理学研究法 B	2
24	心理学統計法 A	2
25	心理学統計法 B	2
26	生物統計学	2
27	統計処理実習	2
28	栄養疫学	2
29	ITリテラシー A	2
30	ITリテラシー B	2
31	社会調査法	2

プログラムの履修・修得状況（詳細）

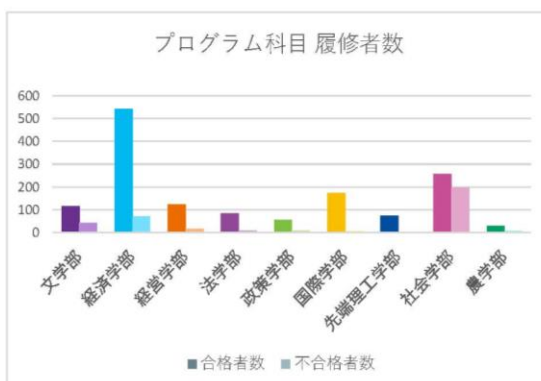
<データサイエンス・AI入門>

学部	履修者数	合格者数	不合格者数	合格率
文学部	16	9	7	56.3%
経済学部	23	13	10	56.5%
経営学部	20	10	10	50.0%
法学部	12	10	2	83.3%
政策学部	10	7	3	70.0%
国際学部	4	3	1	75.0%
先端理工学部	39	31	8	79.5%
社会学部	6	2	4	33.3%
農学部	10	7	3	70.0%
合計	140	92	48	65.7%



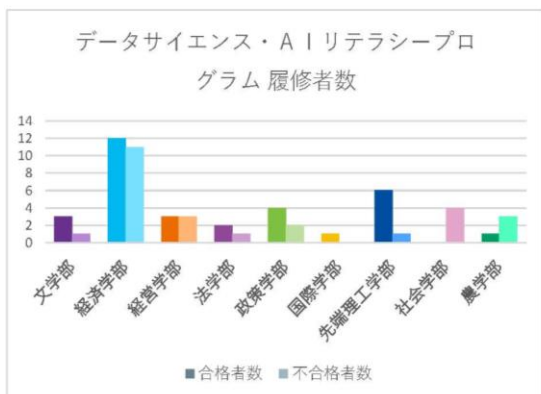
<プログラム科目>

学部	履修者数	合格者数	不合格者数	合格率
文学部	157	115	42	73.2%
経済学部	612	542	70	88.6%
経営学部	140	124	16	88.6%
法学部	94	85	9	90.4%
政策学部	63	55	8	87.3%
国際学部	181	174	7	96.1%
先端理工学部	77	73	4	94.8%
社会学部	452	256	196	56.6%
農学部	35	30	5	85.7%
合計	1,811	1,454	357	80.3%



<データサイエンス・AIリテラシープログラム>

学部	履修者数	合格者数	不合格者数	合格率
文学部	4	3	1	75.0%
経済学部	23	12	11	52.2%
経営学部	6	3	3	50.0%
法学部	3	2	1	66.7%
政策学部	6	4	2	66.7%
国際学部	1	1	0	100.0%
先端理工学部	7	6	1	85.7%
社会学部	3	0	4	0.0%
農学部	4	1	3	25.0%
合計	57	32	25	56.1%

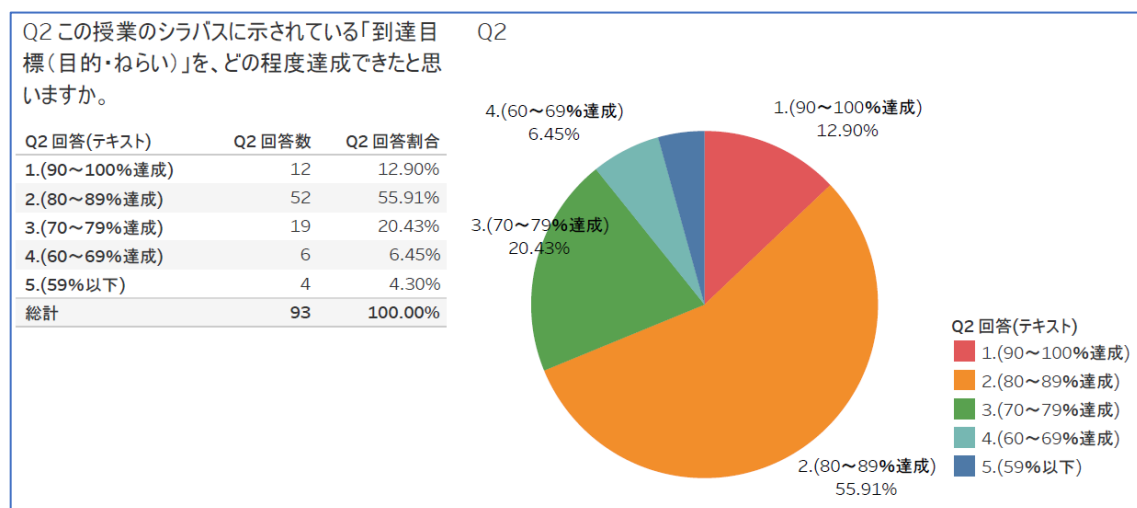
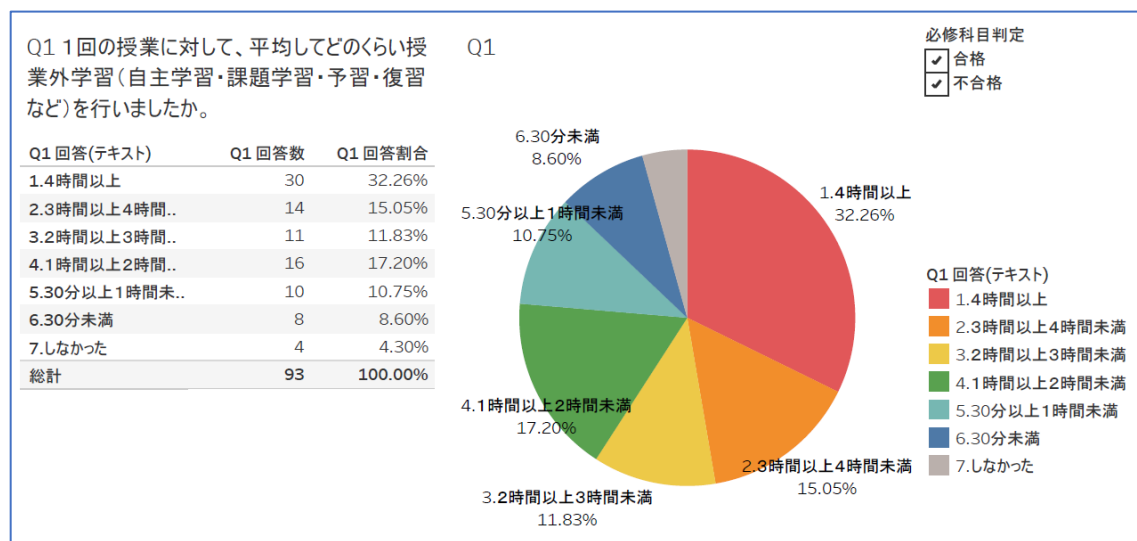


2022 年度「データサイエンス・AI リテラシープログラム（科目名：データサイエンス AI・入門）」アンケート集計表

実施日：2022 年 9 月 8 日

受講者数：140 名

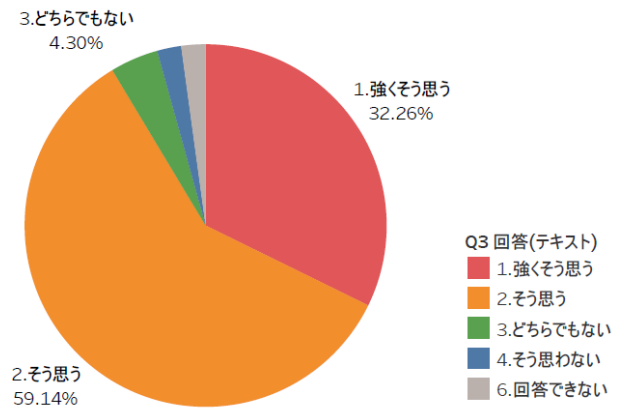
アンケート回答者数：93 名（回収率 66.4%）



Q3 この授業はシラバスに
そって計画的にすすめられていましたか。

Q3 回答(テキスト)	Q3 回答数	Q3 回答割合
1.強く思う	30	32.26%
2.そう思う	55	59.14%
3.どちらでもない	4	4.30%
4.そう思わない	2	2.15%
6.回答できない	2	2.15%
総計	93	100.00%

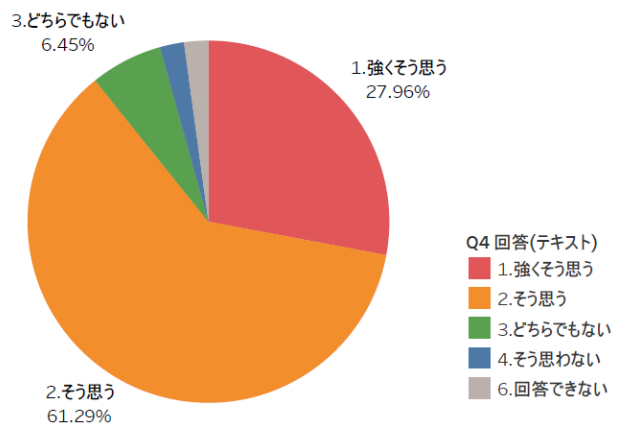
Q3



Q4 この授業
に対して、意欲的に取り組めたと思いますか。

Q4 回答(テキスト)	Q4 回答数	Q4 回答割合
1.強く思う	26	27.96%
2.そう思う	57	61.29%
3.どちらでもない	6	6.45%
4.そう思わない	2	2.15%
6.回答できない	2	2.15%
総計	93	100.00%

Q4



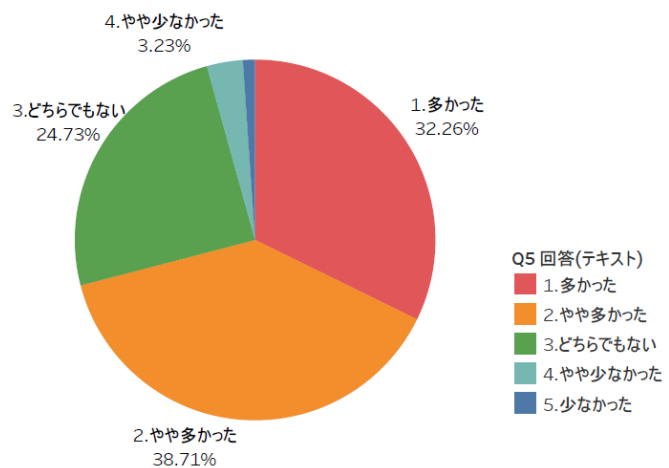
必修科目判定

- ☒ 合格
- ☒ 不合格

Q5 この授業の課題の量はどのように感じましたか。

Q5 回答(テキスト)	Q5 回答数	Q5 回答割合
1.多かった	30	32.26%
2.やや多かった	36	38.71%
3.どちらでもない	23	24.73%
4.やや少なかった	3	3.23%
5.少なかった	1	1.08%
総計	93	100.00%

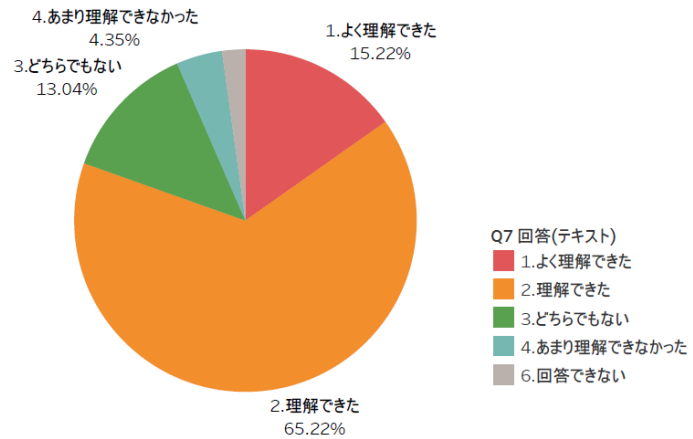
Q5



Q7 この授業の内容は理解できましたか？

Q7

Q7 回答(テキスト)	Q7 回答者	Q7 回答割合
1.よく理解できた	14	15.22%
2.理解できた	60	65.22%
3.どちらでもない	12	13.04%
4.あまり理解できなかった	4	4.35%
6.回答できない	2	2.17%

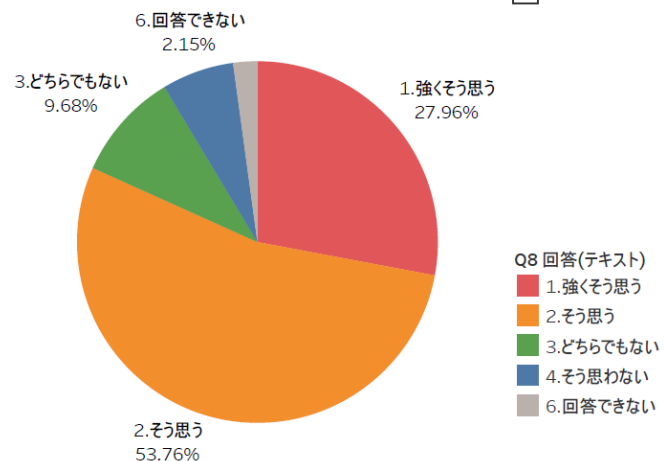


Q8 データサイエンス教育プログラムに関連する科目を通じて「学ぶ楽しさ」や「学ぶことの意義」を感じましたか？

Q8

必修科目判定
☒ 合格
☒ 不合格

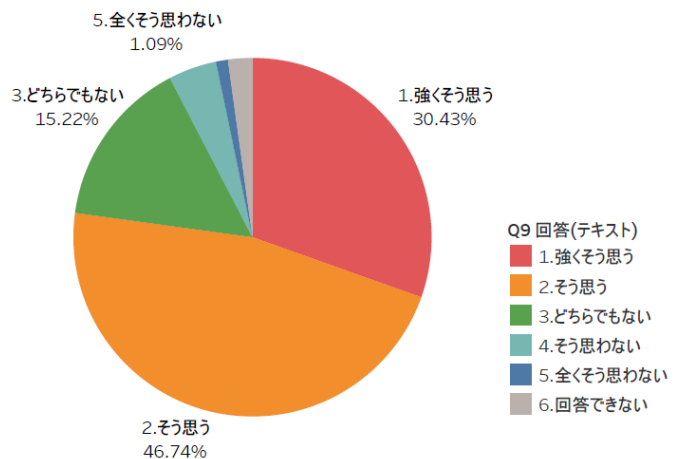
Q8 回答(テキスト)	Q8 回答数	Q8 回答割合
1.強くそう思う	26	27.96%
2.そう思う	50	53.76%
3.どちらでもない	9	9.68%
4.そう思わない	6	6.45%
6.回答できない	2	2.15%



Q9 データサイエンス教育プログラムに関連する科目の受講を後輩や他の学生に履修を推奨したいと思いますか？

Q9

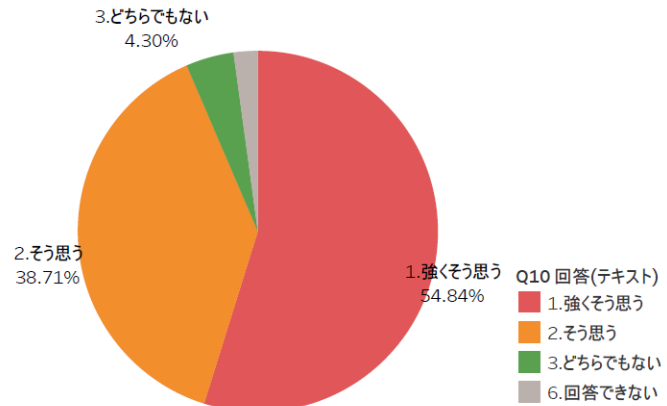
Q9 回答(テキスト)	Q9 回答数	Q9 回答割合
1.強くそう思う	28	30.43%
2.そう思う	43	46.74%
3.どちらでもない	14	15.22%
4.そう思わない	4	4.35%
5.全くそう思わない	1	1.09%
6.回答できない	2	2.17%



Q10 データサイエンス教育プログラムに関連する科目で学んだ内容は、将来、役に立っていますか？

Q10 回答(テキスト)	Q10 回答数	Q10 回答割合
1.強く思う	51	54.84%
2.そう思う	36	38.71%
3.どちらでもない	4	4.30%
6.回答できない	2	2.15%

Q10



Q6 この授業に対する取り組みを振り返り、記入してください。(記述式)

オンデマンド学習がほとんどだったので、実習をもう少ししたかったです。
放送大学の動画を中心に AI、データ活用について取り組めた。
放送大学の動画授業に積極的に意欲を持って取り組みました。授業内で、理解できなかった用語などは自分で調べ学習を行って知識を補うことが出来た。
PMI シートで他の人との意見交流ができた。仮定の出来事でも考えることで発想力を増やせると思った。
映像授業でのインプットと対面授業でのアウトプットの組み合わせで、短い期間で専門的な知識の基礎がしっかり身に付いた。
授業外の取り組みが多く、自ら積極的に取り組めたと思う。
授業動画を見るのにものすごく時間がかかったけど、最初から最後まで丁寧な学習ができていた様に思う。
問題に対してグループで様々な意見交換をすることができたと思う。
情報を扱ううえで必要なものを多く学べた。
授業教材が主に動画だったので自分の時間とペースで進められてとてもよかった。
自分では知っていたつもりであっても、全然わかってなかったりしたものがたくさんあったので、この授業で改めて考えれたのでとても良かったです。
テストが重要語句とかでなく内容理解だったのでしっかり話をきくしかないなとおもった。
きちんと講義動画を見て学習し、グループワークも取り組めたので比較的意欲的に取り組めたのでよかったと思います。
データ利活用の実習では、わかりやすく様々なグラフを作れてデータの比較が簡単にできるおもしろさを学んだ。
放送大学の授業を受講することによりデータサイエンスについての知識を身に付け、グループワークではしっかり意見を交流できたと思う。
自分の体調が悪いながらも、受けれる授業は受けました。しっかり自分の体調の管理をしていれば、グループワークにも参加できたのだと思います。

インプットを映像授業で受け効率的に時間を使えるだけでなく、実習によるアウトプットができてよかった。
レポートの執筆の為に新聞の記事を検索した。
society5.0に向けた知識や姿勢を準備段階として十分に身に着けることができた
ちゃんとした説明がないままだったので、始めからあまりきちんと理解することができないまま終わってしまった。難しい内容がはいってくるときに対面授業でないと理解しにくい。
授業を理解するために真剣に取り組めた。
放送大学のオンデマンド講座を併用する形ではあったものの、対面での活動、グループワークでは他学部の学生と意見を交換する時間は充実したものになっていたと感じる。データ活用及び分析について、受講前はハードルの高いものと想像していたが、google や SIGNATURE 等各種インターフェースが非常に整備されていて、扱いやすいものになっていたことに驚いた。もっとこのような点を今後告知していけばより生徒は集まるのではないだろうか、とも思った。
想定していたのよりも多くの情報が詰まっていて、入門だからと言って浅いわけではなくとても有意義な学習が出来ました。これからも学び続けていくのに丁度いいと感じました。
講義動画の数が多く大変だった グループワークがあまり活発にならなかった
通信講座と実習の2つの形式で授業が進められ、理解しやすかった。
毎日夜遅くまで放送大学の動画を見て勉強した。
グループワークの共有ファイルが同時接続に対して脆弱で動作が重く扱いづらく感じた
スプレッドシートや google data portal を使って以前よりもプログラミングができるようになった。
オンデマンド授業がほとんどだった。
グループワークでみんなの意見が聞けて自分と違う意見から刺激をもらえた
グループワークは積極的に意欲的に取り組めた。
スクーリングでは、きちんと自分の意見をグループに伝えたり、相手の意見をきちんと聴いたりすることができた。また、放送大学のオンデマンド授業では、重要な点についてノートをまとめたり、振り返ったりすることもできた。
AI の活用や概念についてよりよく分かるようになったと思います。
放送大学の教材を見ながらその内容をノートにメモした。
ビデオ視聴の授業は巻き戻しや繰り返し見ることで自分のペースで取り組めた。
授業時間が少ないなか、効率よく3単元勉強できるようなペースだった。
今回色々学ぶことができてよかった
重要な用語とか、ノートにメモをとったり、理解できないところを見直したりした。
グループワークで意見発表ができた。
授業時間が通学時間よりも短い時があったから、完全オンデマンドか完全対面か極端に分けてほしかった
放送大学のコンテンツを見ただけ。グループワークは話し合いはなく、各々シートに書いて終わり。

対面授業の必要性はなかった。グループワークを重要視しているようだったが、共有したシートをリアルタイムで編集、確認できるシステムがせっかくあるので、完全オンラインでよかったと感じた。
授業外の勉強時間が多かった
動画だけでなく確認テストなどがあったのでより理解を深めることができたと思います。
グループワークで他の学部の人と意見交換ができ、視野が広がりました。
グループ活動をもう少し長い時間取り組みたかった。
授業を試聴した上で大事な部分を要約し、ノートにとっておくことができた。
グループワーク内での議題に対してしっかりと話しあえたと思いました。 また、今後起こりうる問題でもあるのでしっかりと授業に取り組みました。
各自の動画視聴が多かったと感じた。
実践的な学習もあったので、より理解を深めることができた。
ノートにまとめていたおかげで、理解がスムーズにいったと思いました。
時間が取れず大変だった

Q11 この授業を通して難しかった点を、記入してください。(記述式)

初めて聞く用語が多く、理解するのに時間がかかりました。
今まで、データを作成することをやったりすることがなかったので、パソコンのソフトを用いて作業を行うことが難しかった。
データからグラフや表を作るときに代表値などを気にして作成すること。
Google data portal によるグラフの作成。
想像もできない未来のかなり難しい話題なので、考察を深めるのが難しかった。
これからの未来のことについて議論するのでわからないことが多い点
グラフに原因不明のエラーが出て大変だった
全く知識がないところもあって想像しにくかった部分もあったから、そこを理解して飲み込むと言う過程が難しかった。
AI の技術が今どれくらいの段階にあってこれからどのように発展していくのかが難しかった。
難しい単語や専門的な事象が個人的に難しく感じた。
その言葉の意味や概念に関してはおおよそ理解できたが、数学的なことがかかわってくる概念に関してはあまり理解ができなかった。
聞いたことのない単語がたくさんあって覚えるのが難しかった。
内容がしっかりと例題を出してきていたので興味のないはなしがしんどい
専門用語の理解が難しかったです。
グループワーク
データサイエンスについて聞きなれない言葉も多く難しかった。
聞いたことのない単語、ワードや知らなかった世界まで見ることができていい機会になりました!

数字に苦手意識があるので、統計学の話が出てきた時には少し戸惑った。
実践演習
映像授業において XY などの文字のある計算式がでたところ
放送大学の授業の量が 24 コマあり、7 日間で行うには大変だった。 心得の授業で字幕がほとんど出ず、参考人が 15 分間、個人情報保護の歴史を連続して話続ける授業があり、話が分かりにくかった。
レポート作成において悩むことがあったが懇切丁寧に指導を受け、完成することができた。
授業自体が難しいというわけではないが、動画の内容は難しかった。授業の進め方をもう少し改善してほしい。
実習の内容がやったことがなかったので難しいと感じた。
夏季集中での開講でしたが、対面でのグループディスカッションの時間が足りないなと思いました。1 回生を対象にしているからと言って控えめに設定されていたようでしたが、入門編だからこそ皆のアイデアを募りあう時間を増やせばより活発な議論を産み、素敵な授業になるのではないかと思います。
個人的には Google スプレッドを用いたデータのグラフ化の実習が難しかったです。ですが、これからの社会には必要な能力なのでいい機会になりました。
知らない単語や考え方が多く理解が大変だった
実習ではその前の日に学んだことを生かせるように色々なことを考えていくのは難しかった。
専門的な単語が多く出てきたのでそれを覚えるのに苦労した。
映像授業の長さの割に課題の提出期限が短いと感じた。等倍速で見ていたので結構ギリギリの提出になった。
リテラシー教育に関する問題の小テストが難解に感じました
情報に関する法律が思っていたよりも曖昧に定められていたこと。
基礎 B のグラフ作成の授業。
オンデマンド教材のテスト「バイアス」の項において個々人で情報のとらえ方が違うこともあり理解に難儀した。
未来のこと、まだ現実では起きてないことを考えるので想像力や疑問点の解消が難しかった
メリットデメリットの意見を端的にまとめて箇条にする点。
AI における問題点などを、どのように解決していくべきかについて、様々な要因が重なり合っているところに、より難しさを感じた。
放送大学の動画を視聴することについて、自分の時間を分けることや自分のペースで調整することは少しだけ苦労しましたが、最後はできました。
放送大学の教材の内容に専門用語が多かった。
データサイエンスの専門的な用語はちゃんと理解しないとわからない点がやや難しかった。
「基礎」の範囲で、用語が多くでてきて、それぞれの意味を理解することが難しかった。
実習
データから仮説を立ててそれに対するデータを使った検証など、なにを求めるかによって扱うデータがかわるのでその判断が大変だなと感じた
レポートを作成すること

放送大学の小テストはそこそこの難易度だった。
ドライブに提示されたグラフ編集の方法が流される動画が、視聴できなかったため全て独学で課題に取り組む必要があった。
自転車の利用数を図やグラフに表すのに苦戦した
専門用語がたくさんあり、覚えるのが大変でした。
はじめて使用するアプリやデータが多く、使い方を理解することが難しかったです。
『レンタル自転車の利用者数』のグラフづくりとその考察を考えて、レポートを作成する授業が難しかったです。
専門用語がたくさん出てきた点。
グラフの作成
基礎 B の分散などが、高校で一回習った内容ではあったが、数学的なことがにが手なのでとても難しかった。
オンデマンド動画がメモを取ると 15 分では見終わらず、時間をかけて理解しようとする翌日まで動画が終わらない点。文学部日本語日本文学科の者にとってはなじみのない言葉ばかりだったので本当に難しかったです。
実践演習
知らない用語を短期間に多く学んだので、これからも復習していく必要があると思った。
専門用語が多く、さらに難しかった。
表、グラフ作成が難しかったため、もう少し時間を取っていただけるとありがたかったです。

Q12 この授業を受講した上での総合的な感想を、記入してください。(記述式)

実習で AI について考えたり、グラフを作成する方法をグーグルポータルで学べてよかったです。
これからの社会を生きて行く上で必須となることに触れることができてよかったです。
すべての授業を終えて、このデータサイエンスの授業を履修して良かったと感じている。これからの時代は、AI、人工知能を用いた人間中心の社会ということで、データに強い人材が求められていくと考えられている中で、今回データサイエンスの授業を通して、データサイエンスを学ぶ必然性を感じる事が出来た。
本当は怠けているはずだった時間を賢く使うことができたので受講して心からよかったと思います。
プライバシーの意識で知っていると思っていることでもさらに深く学べることが授業を聞いていて分かった。専門用語の意味などを覚えて有効活用していきたいです。
難しい部分や理解に時間のかかる部分も多々あったが、自身の糧となるような内容かつ興味深い内容であったように感じた。データポータルに関してはこれからも活用できるように覚えておきたい、一番実用的な学習であったように思う。
最初の一步が踏み出しづらいこのような教科は、短期でもよいので機会が得られるのは非常によかった。これからも学生の様々な興味を引く講義を開いてほしい。
受講してよかったと思う。将来役立ちそうだったと思った。
インターネットや Excel については技能面ばかりで知識については勉強して来なかったから新たな知識を得たいい機会だったと思う。

AI は人類の脅威になるのではないかと考えていたが扱い方を定めることができたなら人間の助けになると思った。
知っていたことも一部あったが基本的には知らないことであり、知見を広めるいい機会になった。
考えていたよりも AI が身の回りに存在しており、これからそれとどのように関わっていけば良いのかを学べた。
グループワークやレポートを通して、いろんな考え方を知ることが出来、尚且つ自分の意見をちゃんと考えて説明することが出来てとても楽しかった。
とてもこれからの人生で使う
近い未来で必要となるであろうデータサイエンスを学べてよかったなと思います。
データサイエンスや AI・データリテラシーについては今後だれもが学ぶことが必要になっていくとともに、社会に出た時にデータを有効的に活用していくことが重要になっていくと思うので、集中講義を受講して学べたのでよかったと思いました。
データサイエンスに興味を持つきっかけになった。
難しいところもありましたがデータサイエンスについて基本的なことを知ることができ、より興味を持ちました。
僕自身、グループワークに参加できていないのですが、オンデマンド授業以外のグループワークにも是非参加したかったです。
自分ひとりでは理解が難しい内容に感じたので、この授業を受けて良かったなと強く思います。
サマーセッションの集中講義なので短時間しかなかったが、学ぶ内容の一つひとつが濃かったのが印象的でした。 特にグループワークでは、みんなと AI 化について話す際に自分とよく似た意見はもちろん違う意見にも触れることができ、それを話し合いという形でみんなと共有するのは非常に有意義な時間だったと感じます。
現在需要が高まりつつある AI やデータを取り扱う授業であったため、将来役に立つと考えるとモチベーションを高く維持して講義を受けることができました。
実習の中で変動係数を使用することになったことに高揚感があった。
適切な情報リテラシーと将来的に役立つ知識を学んだ有意義な講義内容であった。
前期の履修登録前に紙をもらい楽しみにしていたが結果としてあまり理解できないまま終わりを迎え、非常に残念だ。
この授業で学んだことを社会で生かせるようにしたい
この夏季集中期間に学部の勉強から離れた、しかしこれからの社会では必須とされる能力の養成について様々なコンテンツに初めて触れる機会を、そして単位ももらえるなんて、とても素晴らしい授業だったと思います。またこのようなソリューションに携わることができるなら、喜んで履修をしたいです。ありがとうございました。
映像授業を併用した学習はとても進めやすかったです。
心得の講義の前半、基礎の後半の Excel の講義動画は見る必要がないように思えた また、自分たちでグラフを作る講義があったが動画どおりにするだけだったので簡単だった。
1 週間という制限があったので時間的な問題は発生してしまったが柔軟に対応されてしっかりとシラバスの表記通りに授業をすすめられたことは素晴らしいと感じた。
ガイダンスは Google Meet を使っていたので、自宅からのオンライン形式でも良かったのではないかと考えた。

濃密な授業内容の講義を短期間に詰め込むことで有意義な一週間を過ごすことができました
もっといろいろなプログラミングを試してみたかった
今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができた。
興味深い内容で面白かった。
情報セキュリティや倫理観など既に既知のものでもより深く学ぶことができたが、IoT など単語しか知らなかったものについて新たに理解ができた。また Excel の活用においても知らなかった点があり、実践的な力も無知から使えるに帰ることができた。全体として、新たに学ぶことが多い履修してよかったと思える講義だった。
将来役立ちそうな知識を補えたので良かった。
通常の授業ではあまりない他人との共同作業(グループワーク)があったことで刺激的な授業となった。
これから、AI と社会をどのように付き合えばいいかについて、考えるきっかけとなりました。ですから、これから AI がどのように発展していくかについて、きちんと観察していこうと思います。 ただ、授業における課題の量をもう少し減らしてほしいように思いました。
自分の協調力、自律性を磨く同時に、AI の概念と今後用いる変化や影響によく学べた。面白かったです。
データのまとめ方や AI などに対する考え方を学べて良かったと思う。
これからの社会でさらに必要になることが学べたので良い経験になった。
もう少し、映像で学ぶ量を減らすべき。
実習が難しかったけど使えるようにできてよかった
一回受けただけではやっぱり難しいことがたくさんだったので、しっかり復習して、身につくようにしたいと思いました。
データ、AI について、よく考えさせられるいい機会になった。
映像授業がメインだったからもっとグループワークなどを取り入れてほしかった。授業内容は全体的に自分の課程の分野と近かったので、理解しやすかった。
放送大学の授業を見るだけだった。授業を見たかの判定はあまいので、期限に間に合わせるのは容易であった。回によっては知っていることや当たり前のことも多く、全体的に障壁なく取り組めた。私の班ではグループワークでの思っていた通り話し合いはなかった。放送大学のコンテンツが無料で見れたので良かった。この点だけでも誰かにオススメしたい。
知らない言葉を理解するのに、具体例が多く分かりやすかった。
受講の必要性は、単位取得以外には感じられなかった。
ネットを利用するにあたって、当たり前のことも再度確認することができたし、知らないことも知れたのでよかった
難しいことも多かったけれど、聞いていると面白いことばかりでした。 これからは生かしていきたいと思いました。
課題量が多くて、こなすのが大変でした。レポートの書き方を知る機会になり、非常に為になりました。
データサイエンスが今後発展していくなかで、私たちがそれらをしっかりと分析し、上手く活用できるようにしていかなければならないと感じました。また、倫理的な側面での適切な利用を心がけていかなければならないという点が重要であると思いました。よい学びになったと思います。

元々一般に公開されている音声合成ソフトの中に AI を用いて精度を大幅に向上させているものがあるということなどいくつか AI に関して知っていることはあったが、今回の授業を通してまだ様々な面で発展途上であり、また何より法整備が全く追いついていないということを強く感じました。 実際直近でも悪用すればイラストレーターの方の絵柄やノウハウなどを容易に盗用出来てしまうようなソフトウェアが一時的に一般公開されていたということもあり、法整備だけでもなんとかしないといけないのではないかと強く思います。
学部関係なく交流出来たり少し専門的なことも学べたりとやりがいのある授業でした。
グラフの作り方は今後役に立つと思うので授業に参加して良かったと思います。
これからは人間の意思決定や勘などではなく、AI によって効率的に行うことが重要なことだと非常に感じたため、データサイエンスを全員が受講することで先進的な未来の実現が早まると感じた。
アルバイトの関係上授業後の時間は難しかったので、睡眠時間を削り朝方まで見てなんとか終わらせました。本当にしんどかったので認証状を提出するのにもう少し時間的猶予を頂きたかったです。内容も理解するのが難しく、ためになるとは感じましたが、メモを取るのに精一杯になってしまいました。
放送大学の動画は初心者でもわかりやすい動画となっていて良かったです。 また、グループワークではしっかりと話し合えました
様々な最先端技術に触れることができたように思え、大変楽しく受講できた。 ただ、各パートのオリエンテーション(2 限教室実施)については、対面実施に必要性が感じられなかったもので、そこは再検討していただけるとなおよいのではないかと。
祖父が亡くなり、お寺であるが故、富山に帰り家族の手伝いを行っていたので、9 月 1 日から授業に参加出来なかった。
情報化社会において重要な情報を改めて学ぶことができてよかった。
グループワークを通して様々な意見を知ることができた。そのうえで自分の意見を他人と比較しながら、より議論したテーマについて興味を持つことができた。
将来絶対役に立つ分野になるので事前にこのような授業を受けれて良かったです。
動画が、夏休みの最初の頃から見れば課題に追われずに済んだ
AI やリテラシーのことはある程度知っているつもりでしたが、まだまだ知らないことがたくさんあるなと気づいた授業でした。楽しかったです。

以 上